

児童養護施設・里親家庭で暮らす

夢を持っているきみへ。
これから夢を持つきみへ。

2024 Winter

ぴあ応援ブック制作チーム

CONTENTS

集まれ!世の中に言いたいことのある中高生!

奨学金アドバイザーインタビュー

応援生の思い出をインタビュー

大学進学マストアイテムランキング

今やっておくべきことと相談相手



集まれ！世の中に

昨年10月14、15日のイベント「ひあ応援フェス」で「集まれ！世の中に言いたいことのある中高生！」を実施しました。前年度に続き2回目です。施設や里親家庭で暮らす中高生が思いを語るプログラムで、冊子「ひあ応援ブック」とYouTubeチャンネル「ひあ応援ラジオ」を手掛ける応援生が企画。当日集まった声と、事前アンケートで寄せられた声を採録します。協力して下さった皆さん、ありがとうございました！

「施設で暮らしていることは不幸ではない」



「里子にも留学サポート制度がほしい!!」



「クラスの前で、大きな声で私が施設にいることを言われました。どうすればいいのかわかりませんでした」

「施設では、トラブルが起きるとずっと続くことがあります。そんな時の立ち直れない気持ちを知ってほしい」

「嫌なことを話す時は意見がほしいのではなく、ただ聞いてもらいたいだけ」



「大雨などで保護者が学校に迎えに来るようになったことがありました。その際、『〇〇園(施設名)の皆さん、保護者さんが来ました』と校内放送で言われたんです。恥ずかしかったです。もっと違う方法で伝えてほしいと思いました」



「大学受験の勉強、施設を出た後の家探し、奨学金の申請などで忙しい!!」



「児童相談所の面談で、職員が怖く、意見を言えないことがありました。自分の声をしっかりと聞いたうえで、面談に同席し、意見を伝えてくれる外部の人がほしいです」

「大人は、子どものわずかな変化にも気づいてほしい。そうすれば多くの子どもたちが救われるかもしれない」



応援生から

今回のプログラムで2日間、司会をしました。参加してくれた中高生にとっては初めての場。緊張する中、勇気を出して自分の思いを発言してくれたことを、とてもうれしく感じました。ひあ応援ブックやひあ応援ラジオを通じ、皆さんの思いは社会に届くと思います。このひあ応援ブックを手にした方は、社会的養護で暮らす中高生の思いを、どうか忘れないで下さい。

言いたいことのある中高生!

「施設のいいところや、施設に来たくて来たわけじゃない子どももいることなどを、もっと知ってもらいたい。その上で、社会の人たちには、私たちと一緒に生きていてほしいと思います」



「去年4月から今年5月ぐらいまで恋人がいました。施設のことを全然知らない人で、「どんな感じなの?」と聞かれたから、答えたんです。すると「保育園みたい」と言われて。馬鹿にされたように感じ、辛かったです」



「学校で弁当持参の日がありません。施設が作ってくれることもありますが、お弁当屋さんの宅配弁当を、弁当箱に詰め替えて、持っていかなければならない場合もあります。友だちはみんな手作り。お弁当の話題についていけないことがあります」

「大学や専門学校に進む多くの人は、奨学金を借りると思います。返すのが難しくなった場合、国から補助を受けられたり、返済を免除してもらえたりする制度がほしい。特に親や親族からの援助が得られない状態で、返済が滞ると、そのまま破産になってしまうこともあるのではないかと感じます」



応援生から

今の貸与型奨学金では、返済を待ってくれたり、返済月額を少なくしてくれたりする「猶予制度」はありますが、「返済免除」の仕組みがありません。2020年4月から高等教育の修学支援新制度(給付型奨学金+学費減免)が始まりました。複数の民間団体の給付型奨学金の受給を目指して、貸与型奨学金を最小限にしましょう。上手く活用できれば、給付型だけで進学することは十分可能です。

きっと皆さんに役立つ「Miomus(ミオムス)」がスタート!

奨学金については「制度を探すのに苦労した」「職員さんが連日、夜遅くまで調べてくれた」など情報集めの大変さが聞かれます。

同じような経験をした応援生らが立ち上げたのが、奨学金検索サイトMiomusです。奨学金事業に取り組む全国の団体と、情報発信しています。

Miomusでは、奨学金検索のほかにコラムや当事者インタビューなどが掲載されます。ぜひご覧ください!!



応援生とは

児童養護施設・里親家庭等進学応援金(奨学金)を受け、全国の大学や専門学校で学ぶ約70人です。この冊子はその中の有志8人が中心となって制作しています。



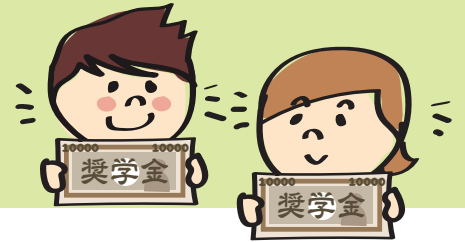
Interview

奨学金アドバイザー久米忠史さんへのインタビュー第2弾

前回に引き続き奨学金アドバイザーの久米忠史さんのインタビューです。奨学金について様々な質問に回答していただきました。

Profile

1968年生まれ東京都在住。奨学金アドバイザーとして2005年から沖縄県の高校で始めた奨学金講演会が「分かりやすい」と評判を呼び、全国で開催される進学相談会や高校・大学等での講演が年間150回を超える。



Q 民間の奨学金を受ける際、ボランティア経験などは重視されますか？

A 一般的には、成績と経済状況をもとに審査されます。民間では社会に役立つ人材育成を掲げる奨学団体が多いので、ボランティア経験がプラスの影響を与える可能性はあるでしょう。

Q 奨学金を申し込む際、作文や面接はどのような点が重視されますか？

A 国の奨学金では、200文字以内で家庭事情の説明文が求められます。しかし、全体で数十万人の応募があることや、「支援が必要な学生に給付する」ものであることを踏まえると、選考にあたっては、それほど重視されていないでしょう。

一方、民間の奨学金は異なるようです。学生の意欲などを測るため、作文は選考の材料として用いられ、面接も同様だと思われま

す。こうした点は総合型選抜*と似ているのではないのでしょうか。

*総合型選抜とは、面接や小論文、プレゼンテーションなどで、学びへの意欲や目的意識の高さなどを総合的に評価する入試方式。

Q 貸与型奨学金の返済は大変ですか？

A 2022年に中央労福協が2,200人に行った調査では、ひとりあたりの奨学金の借入額の平均が310万円、返済月額が1万5千円、返済期間は14.5年と報告されています。働き始めて数年間は、まだ給与も少なく、返済が特に負担になると思います。



Q 貸与型の奨学金をできるだけ利用しないコツはありますか？

A 学費の安い大学や低家賃の物件を選ぶ、生活費を節約する、といったことが考えられますが、万能な解決策は思い浮かびません。

措置延長*をするという選択肢もありますが、自宅通学という区分の扱いになり支給額が減るので、金銭面のみ比較すると大きな差はないかも知れないです。

*措置延長とは、本人にとって必要であれば、今まで通り施設や里親家庭での生活などができる仕組み。

Q 奨学金アドバイザーの活動を通し、見えてきた課題などありますか？

A 社会的養護を経て大学などに進学し、学校生活を送るための国の奨学金は、現状ではかなり充足したと思います。少し質問から外れるかもしれませんが、一番の障壁だしょうへきと感じているのは納付金なのです。

納付金は合格後、入学前に支払わなければなりません。まだ奨学金を受け取れる前の段階です。それまでにどれぐらいお金を貯められたかによって、支払えるか否かが変わってしまう。

特に年齢が高くなってから入所した子どもにとっては、進学までの在学期間が短く、お金を貯める時間が少ないため、大きな壁になるでしょう。

今後、納付金に着目した奨学金が出てきてほしいと、願っています。



応援生から

奨学金を受けるにあたって、一人ひとりが大学に入学する意義や目的を明確化させておくことが重要だと思いました。どうして入学したいのか、入学後は何をしたいのかを考えておくことで、見通しを持って面接、作文対策を行えると思います。また、金銭面のところでは入学前の納付金や貸与型の奨学金を借りた際の負担など、やはり難しいところがあるとわかったので、その部分は職員さんや里親の方と話し合い、自分に合った最小限の負担で学生生活をおくれる方法を探したり、提案してもらえるよう声をかけてみてください。

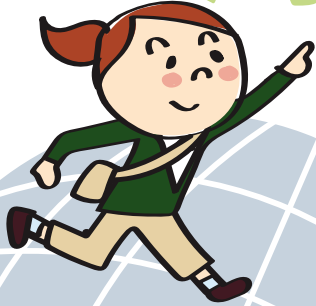
さて、次号が久米さんへのインタビュー企画の最後となります。久米さんの熱いメッセージが載っているのでぜひお楽しみに!!!

実際に進学した応援生は
何をモチベーションにして
学生生活を送っているのでしょうか？

応援生の 思い出を インタビュー！

Aさんの場合

思い出 海外留学



辛いこともたくさん
ありましたが、
留学先で様々な
体験ができました。
多様なバックグラウンドを
持つ人と出会え、
良い経験になりました。



Bさんの場合

思い出 夏休み

夏休みが長いので、
友だちと予定を合わせて
山梨に行きました。
雰囲気の良いカフェを訪ねたり、
借りたコテージでバーベキューや
花火を楽しんだりしました。
高校生のときと違い、
やれることも増え、
自主的に行動でき、
とても思い出に残っています。



Cさんの場合

思い出 学校行事

学校行事



大学の保育学科の
行事です。
先輩や後輩と、
劇に使う大道具を
造ったことが
いい思い出です。

応援生から

大学生になると、高校生までと比べて自由度が増すため楽しいことも多いですが一方で、課題なども自分で計画的に進めていく必要があります。そのため、どのようにしてモチベーションを維持し続けるかがカギになると思います。大学のことやバイトのこと、友人との交流など、なんでもいいので自分が上手にモチベーションを保てる方法を知ることにより一層大学生活は充実すると思うので、どんなふうにもモチベーションを保ちながら大学生活を充実させていきたいか、わくわくすることを考えながら進学という夢に前向きでいてほしいと思います。

★ 大学進学マストアイテムランキング ★ 応援生が選ぶ一番はこれだ! ★



パソコン



オンデマンドや遠隔での授業に使用。課題を提出する際、「Word形式で」「PDF形式で」と求められることも多く、大学生活には何をするにも必須のアイテム!

PCを選ぶ時のポイントは、①持ち運びしやすい(サイズ12~14インチ、重さ1kg前後)、②資料作りに便利な「Microsoft Office」搭載、③メモリ8GB以上で快適に使えるノートパソコンがおすすめ! 学校の指定があるかもしれないので、価格やスペックをしっかりと調べて自分に合ったものを選びよう!



Must-items I always find it useful! Ranking!



スマートフォン



大学の先生や友だちとの連絡、授業中の調べ物など、使用頻度はパソコンよりも高い。授業の休講予定など、スケジュールを管理するメモとしてもよく使われる。紙のメモ(手帳)にも利点はあるが、高校までより自分で管理しなくてはならないことが増えるため、手軽に確認できるスマホは便利。



USBメモリ



授業の課題を大学のパソコンルームで印刷したり、ゼミで発表したりする際に欠かせない。パソコンを持ち運びたくない、雨や荷物が多い日にも便利。USBにデータを入れ、学校のパソコンで授業を受けたり課題をこなしたりすることができます。



応援生から

ドキドキの新生活、何が必要なかわからない…!そんな時にはぜひ参考にしてみてください!

高価なものを購入する際は口コミを確認したり、実際に見に行き販売員さんに聞いてみたりすることをおすすめします!
お気に入りのものを手に入れて楽しい学校生活を送ろう!

今やっておくべきことと相談相手

1、施設を退園する前、もしくは里親の元を離れる前に「やっておくべきこと」とは?

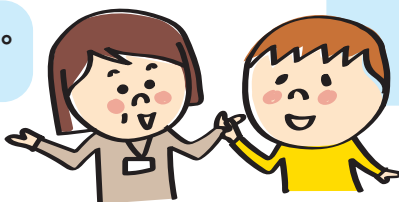
里親の場合、今後の付き合い方について、里親さんと話しておくといいと思います。私は現在一人暮らしですが、近況報告を兼ね、数ヶ月に一度は里親さんにご飯を食べに行っています。

洗濯や掃除、料理の練習などしておく。一人暮らしを始めたときに楽!

なに する?

施設の行事や里親さんのお出かけなど
たくさんの思い出をつくる!

施設の職員や里親さんと、なんでもいので
“話せる関係”になっておく!
退園後に帰って来やすくなったり
相談しやすくなったりする。



2、施設を退園後、もしくは里親の元を離れた後「相談ごと」を誰にしていますか?



退園した施設の
先生や里親さん

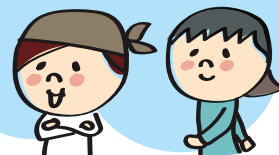
児童相談所や大学、
NPO 法人の相談窓口



社会的養護自立支援事業の
支援員さん

誰に 相談?

バイト先の人や友人、
兄弟や同じ施設の退園生



今回の応援生からのアドバイスは参考になりましたか?

ちなみに私の「今やっておくべきこと」のおすすめは、資格取得や勉強、部活などにたくさん挑戦することです! 一人暮らしを始めたり、働きだしたりすると、自分の時間を作るのが難しくなるので今のうちたくさんの方にチャレンジしてみてください!

相談相手を尋ねた問いには「退園した施設の先生や里親さん」との回答が目立ちました。

苦楽をともにした先生、里親さんだからこそ話せることがあるのかもしれないね!

皆さんもぜひ、心おきなく話せる人を、誰でもいいので見つけて下さい♪

編集後記

夢を持っているきみへ。
これから夢を持つきみへ。

次号もお楽しみに!



冬の寒さが一層厳しくなりました。みなさん、体調は崩されていないでしょうか?最近私は運動することにはまっています。体調管理のためにも近くの公園やスポーツセンターでランニングや筋トレをしてみたいかがでしょうか?ぜひ試してみてくださいね!(もちろん暖かい格好で!) ゆうご

WE ARE A GOOD TEAM!



進学情報シェアチーム

奨学金や進学体験などの情報を施設や里親といった社会的養護で暮らす中高生や養育に関わる大人たちに共有(シェア)していく活動を行っています。1人でも多くの中高生の背中を後押しできるように頑張っていきたいと思えます!



サイトチーム

全国の社会的養護に関連する奨学金情報などを掲載した、奨学金検索サイト【Miomus(ミオムス)】を公開しました。奨学金の検索ができるほか、奨学金の仕組みや、当事者の声など、様々なコラムを配信予定です。学校関係者の方や、社会的養護に関わり始めた方も、奨学金について深く知るきっかけになってほしいです!

奨学金情報等のお役立ち
情報をたくさん公開!



巣立ちの権利ノートチーム

全国の社会的養護で暮らす中高生が巣立つ際に自身の権利や状況について正しく知り、自分の意思を基に養育者と話し合い、必要な支援を受けながら未来を拓くためのツールとなる権利ノートの作成を目指しています。



フェスチーム

10月に社会的養護で暮らす中高生の将来を応援するオンラインイベントを開催しました。今回は、初めて大人と子どもの意見を交流できるプログラムを設け、子どもだけでなく大人にとっても学びになるイベントになりました。来年はより多くの社会的養護で暮らす中高生や、養育者の皆さんに参加してもらい、ためになるイベントにしていきたいと思えます!



ラジオチーム

社会的養護で育った私たちの経験やゲストインタビュー、大学生活、奨学金の情報についてYouTubeを通してラジオ形式で発信しています。企画から出演、イラスト作成などを学生が中心となってい、同じような境遇にあり、進学や夢を目指す中高生を応援することを目的に活動しています。多くの皆さんにお聴き頂ければ幸いです。

びあ応援ラジオを
YouTubeなどで配信中!



制作:びあ応援ブック制作チーム

ゆうご、ありさ、しょうむ、ひな、きぬよ、ゆう、ふうね、ゆうか

編集協力:河井健

デザイン:かえるぐみ

発行:朝日新聞厚生文化事業団

2024年1月発行

びあ応援ブック次回制作に向けて、
ご意見、ご感想などございましたら
こちらのQRコードからお送りください!

